

2024年度経験者採用試験 採用予定府省からのメッセージ

試験名／省庁名		求める人材	キャリアパス	採用者からのメッセージ
経験者採用試験（係長級（事務））※1	会計検査院	会計検査院の検査業務は行政全般を対象とする、とても範囲の広い仕事です。自らの専門にとらわれずに様々なことに興味や関心を持つことができ、かつ、小さな疑問でもそのままにせず追究していくことができるような探究心のある方を求めています。特に、民間のキャリアの中でも公認会計士としての職務経験やデジタル系の専門的な職務経験を有する方を求めています。	経験者採用試験からの採用者も他の試験区分の採用者と同様に検査業務に従事することになります。調査官として、これまでに培ってきた職務経験・知識を社会保障、科学技術、防衛、経済協力、デジタルなど多様な行財政分野の検査でいかながら、経験を積んでいただきます。	これまでの会計監査等の知識や経験を最大限いかせると考え会計検査院を選びました。民間の知識や経験は有用であると実感するとともに、国のフィールドに刺激を受けながら勤務しています。
	人事院	官民を問わず組織は人で成り立っています。近年、行政課題が複雑・高度化する中、この国を支える優秀な公務員人材を確保・育成し、公務を魅力ある職場にしていくことにより国民の生活に寄与する人事行政の役割はますます高まってきています。社会人としての経験をいかし、将来の人事行政の在り方を追求し、関係者の理解・協力を得ながら、実現に向けて意欲的に行動できる人材を求めています。	採用後は、係長級のポストに配属され、他の総合職試験から採用された職員と同様、2～3年程度で異動をしながら人材の確保・育成、勤務環境、給与・生涯設計など様々な業務の経験を積んでいただきます。その後は、能力・実績に基づき、課長補佐級、管理職へとキャリアアップしていきます。	人事院は、国の発展を多方面から支える「国家公務員」の人材確保や給与、勤務環境の整備など、「国家公務員」を足元から支える役割を担っています。人事院の働き次第で、公務の環境は良くも悪くもなり得るからこそ、非常に重要であり、やりがいのある職場です。変化の激しい時代の中で、人事院がより高いパフォーマンスを発揮するためには、多様な経験を持つ皆様の力が必要となりますので、是非ご応募をお待ちしております。
	警察庁	サイバー空間の拡大や国際情勢の変化等、社会情勢の変化に伴い複雑・多様化する治安課題に的確に対応するためには、多様な人材が必要です。 警察庁では、困難な課題を解決できる論理的な思考力、判断力、対人折衝・調整力、語学力等民間企業での職務経験等を通じて得た知見・能力をいかして警察庁において活躍することができる方、警察庁の業務に対する強い関心と熱意を有する方を求めています。	国家公務員・警察職員として必要な教養を獲得するための研修を受けていただいた上で、係長級職員として、警察庁において、政策の企画・立案、調査及び研究に関する事務（法令の立案、都道府県警察の指揮・監督・調整、他省庁や外国政府等との連携等）の事務に従事していただきます。 総合職職員として、民間企業等での職務経験をいかしつつ、幅広いフィールドで活躍していただくことを想定しています。	「人々の安全・安心を守る」という警察庁の使命に共感し、困難な治安課題に立ち向かっていく志と情熱を持った方をお待ちしています。
	金融庁	金融行政のプロフェッショナルとなるポテンシャル・意欲のある方、また、将来的に管理職となりマネジメントにも携わる意思のある方を募集しております。	入庁後は、総合職相当の係長級職員として、政策の最前線で活躍する課長補佐を支える役割からスタートします。入庁数年後には課長補佐へとステップアップしていただき、成果等を考慮しつつ、将来的には管理職として組織・社会のリーダーとして活躍していただくことが期待されます。	金融は社会課題解決の「触媒」であり、金融×行政というユニークな立場から、世の中の様々な社会課題の解決に取り組んでいます。その中で、金融制度の企画立案や、金融モニタリング、金融外交など、非常に幅広い業務に携われる点も魅力の一つです。金融庁は霞ヶ関の未来の役所。職員の働き方改革ややりがいの実感も高く、能力開発との両立も可能です。多様な経験をお持ちの皆さまのご応募をお待ちしております。

試験名／省庁名		求める人材	キャリアパス	採用者からのメッセージ
経験者採用試験（係長級（事務））※1	デジタル庁	デジタル庁はいま、社会全体のデジタル化を推進し、行政におけるDXを加速させ、継続的にアップデートしていく仕組みづくりと、日々の課題解決を求められています。多様な経験や豊富な専門性をいかし、ともに大きな挑戦に取り組む仲間を、私たちは求めています。デジタル庁のミッション・ビジョン・バリューに強く共感を持てる方、この国のDXを実現したい方、新しい組織で変化を楽しみたい方は是非ご訪問ください。	デジタル庁では、専門性を身につけながら自動的にキャリアを開発していただけるよう、キャリアコースを主に4つご用意しております。政策デザイン・リーガル・テック・組織設計の4コースより、ご自身の志向にあわせて選択いただき、全体視線と現場感覚双方を獲得できるよう、業務を通してキャリアを積んでいただく予定です。係長級として様々なプロジェクトに参画した後、課長補佐級、管理職へとステップアップしていきます。	デジタル庁発足後、計7名が経験者採用試験を通じて入庁しています。民間企業や自治体などバックグラウンドは様々ですが、前職での経験をいかしつつ、行政官としての仕事を日々学びながら、デジタル庁の様々なプロジェクトに参画しております。デジタル庁は官民融合の組織であり、霞が関外での経験を持った行政官の活躍の幅が広く、その分周りからの期待も大きいです。1億3000万人の課題解決を共に進めましょう。
	財務省	財務省財務局は、全国47都道府県での経済・財政・金融等に関する施策の実施を通じて、地域の課題解決などに取り組んでいます。財務局総合職として、幅広い視点を持ち、国・地方の双方に貢献したいという高い志のある方を求めています。経済全般に関心を持つ意欲ある方や、例えば、金融や企業財務、事業計画の策定・分析、資産管理に携わったことのある方は、今までの業務経験をいかして活躍いただける職場です。	他の総合職職員と同様に、財務省・金融庁などの本省庁のほか、各地域の財務局や海外等の幅広いフィールドを行き来してキャリアを積みめます。本省庁での政策の企画立案だけでなく、政策が執行される「現場」に携わる機会が多いのが財務局総合職の特徴です。入省後は係長級として、政策立案を最前線で担う本省庁課長補佐を支える役割からスタートし、将来的には財務局幹部等の組織のリーダーとして活躍いただくことが期待されます。	地域経済のプレイヤーである金融機関や事業者等との対話や国有財産管理を通じた街づくりなどを通じて、地域の諸課題にアプローチし、貢献できるのは、財務局総合職ならではの魅力です。国と地方を行き来しながら、日々の暮らしそのものである経済を相手に働いてみませんか。皆様のチャレンジを是非お待ちしております。
	国税庁	国税庁総合職職員には税のプロフェッショナルとして、税務行政と税制の企画、立案の中核を担う役割が求められます。様々な関係法令の知識や経済活動への理解など、幅広い知識と視野が必要とされると同時に、5万6千人からなる組織を率いるリーダーシップ性も必要です。将来の経済社会像を考えながら、いかに納税者サービスや課税、徴収の仕組みを進化させていくかという大局的な視点をもてる方にチャレンジしてほしいと思います。	総合職係長級のポストに配属され、他の総合職（事務系）職員と同様、税という軸（専門性）を持ちつつ、霞が関（制度設計）と現場を行き来します。また、国税組織に加え、他省庁への出向、海外留学・在外公館への赴任など、税の専門性を高めつつ、幅広いフィールドで活躍することが可能です。なお、採用後、数か月の本庁勤務の後、早速、1年程度国税局・税務署等の現場経験を積む機会が与えられます。	国税庁では、本年から新たに経験者採用試験（係長級（事務））での採用を開始します。経験者採用試験（係長級）による国税庁採用第1号となる方をお待ちしています！～国税庁総合職経験者採用担当より～
	文部科学省	①教育、科学技術・学術、スポーツ、文化という幅広い分野において、未来を創り、人を育てていく仕事に関心があり、②これまでの社会人経験を通じて培った論理的思考力・コミュニケーション能力・調整能力等を政策立案にいかしつつ、③新しい感覚と柔軟な発想により将来のビジョンを構想し、それを実現させるため、多様な関係者を巻き込みながら困難な課題にも粘り強く立ち向かうことのできる方を求めています。	総合職係長級のポストに配属となります。他の総合職職員と同様、1～3年ごとに異動し、教育、科学技術・学術、文化、スポーツの幅広い分野において、法令・予算・企画など多様な業務の経験を積み、将来的には組織のリーダーとして活躍いただくことが期待されます。	—

試験名／省庁名		求める人材	キャリアパス	採用者からのメッセージ
経験者採用試験（係長級（事務））※1	農林水産省	生命を支える「食」と「環境」の継承という政策課題に対し、①これまでの社会人経験をいかし、広い視野と新しいアイデアをもって常に前向きに考え行動できる方、②経済・社会・技術の動向を敏感に受け止め、将来を予測し、国民の期待に応える政策やシステムを設計し、実行できる方を求めています。	我が国の将来の在り方をデザインし、農林水産政策の企画・立案を担当する総合職事務系職員として採用され、その後は、国内外問わず幅広いフィールドで経験を積みます。将来的には、管理職となり組織リーダーとして活躍することが期待されます。	農林水産省は「食」と「環境」を未来の世代に受け継ぐことを使命として日々業務にあたっています。農林水産業には課題が山積していますが、だからこそ大きな変革の可能性があり、また、一次産業を核として多様なフィールド(国際交渉・技術開発・地方創生・環境等)が広がっています。これまでの社会人経験をいかし、広い視野と新しいアイデアをもって常に前向きに考え行動できる方のご応募をお待ちしております。
	環境省	―「脱炭素社会」「循環経済」等の実現に向けた時代の要請への対応と、人の生命と環境を守る不変の原点の追求― 国民の思いを大切にこれらのミッションに取り組んでいただける方をお待ちしています。	総合職事務系職員として、部局の政策企画立案の総括、原課の主担当などを経験し、組織の中核を担う職員として活躍いただくことが期待されます。分野にかかわらずジェネラルに政策やマネジメント業務を担当することを基本としていますが、職員の専門性もいかしつつ様々な分野で経験を積んでキャリアアップしていきます。	世の中の様々な課題に対して、「環境」の視点から解決策を提示する。環境省はそんな想いを持って、難しい課題に日々挑戦しています。環境行政の分野は、2050年カーボンニュートラル達成のための取組を始めとする気候変動対策、海洋プラスチック対策など、我々の日常生活の様々な場面と密接に繋がっています。皆さんの様々な経験を役立てることができる職場だと確信していますので、幅広い方々の挑戦をお待ちしています。
総務省経験者採用試験（係長級（事務））※2		総務省が所管する行政分野（行政評価・管理、統計、地方自治、情報通信）において、即戦力として能力や経験を課題解決にいかしていただける方	係長級職員として、本省や地方支分部局において、総務省が所管する行政分野の最前線でご活躍いただき、経験や能力に応じたキャリアパスを歩んでいただけます。	「くらしの中に総務省」 総務省は、基本的な行政制度の管理・運営や統計行政、情報通信技術（ICT）を活用した成長戦略の実現、地方自治や消防・救急行政など日本全国津々浦々にわたる基本的な仕組みを担い、「総（すべて）を務（つと）める」省庁として、国家の基盤と人々の暮らしを支える省庁です。これまでの経験や能力をいかし、国や地域に貢献したいとお考えの方は是非挑戦してください。
総務省経験者採用試験（係長級（技術））※2		通信や放送、情報通信技術（ICT）の活用推進など情報通信行政に携わり、即戦力として能力や経験を課題解決にいかしていただける方	係長級職員として、情報通信行政の最前線でご活躍いただき、経験や能力に応じたキャリアパスを歩んでいただけます。	情報通信技術（ICT）の進展を推進し、通信や放送、電波といった情報通信サービスの発展や、ICTを活用した社会課題の解決など、情報通信分野の未来を担うとともに、国家の基盤と人々の暮らしを支える省庁です。また、国家公務員として広い視野を持ちながら、ICTを軸に地域や社会の課題に取り組めることが魅力です。様々なことに関心があり、これまでの経験をいかして貢献したいとお考えの方は、是非挑戦してください。

試験名／省庁名	求める人材	キャリアパス	採用者からのメッセージ
外務省経験者採用試験(書記官級)※3	国際社会の中で日本が直面する様々な外交課題に高い関心と知識・経験を有する方。高い英語力を有する方。英語以外の言語の高い語学力を有する方。多様な価値観を受け入れるバランス感覚と高い柔軟性、長期の海外勤務に耐えるたくましさ具备した方。	入省後は外務省専門職相当職員として、本省及び在外公館に勤務し、様々な地域・分野で業務経験を積んでいただきます。能力及び勤務実績に応じて昇進し、適性に応じて本省幹部や在外公館長への道も開かれています。	国際協力業務で得た経験やスキルを用いて外交に貢献したいと考え入省を希望しました。働きながらの受験は大変ですが、迅速な翻訳等、自らの能力を磨く良い機会。同じ志を持つ皆さんと国内外の職場で一緒にできる日を楽しみにしています。
国税庁経験者採用試験(国税調査官級)※4	これまでの職務経験(特に、情報処理、データ活用、情報システム(ICT)などの職務経験)により培ったノウハウを発揮することで、国税の職場に貢献したいという熱意、意欲、使命感、正義感を有する者。 また、採用後、研修や職務経験を通じて、法律、経済、会計等の専門知識及び国税職員としての能力を習得する向上心を有する者。	各国税局(所)に採用されると、約3か月間、税法や会計等の基礎知識を学ぶ社会人基礎研修を受講します。研修修了後は、税務署に配属され、調査・徴収部門で外部事務を中心に実務経験を積みます。その後は、本人の希望や公務の要請によって国税局等へ登用される場合もあります。 将来的には、統括国税調査官など管理職として組織のリーダーとして活躍していただくことが期待されます。	採用された後は全国の国税局や税務署で「税のスペシャリスト」として調査・徴収事務に従事することになります。「税のスペシャリスト」と聞くと、税法や会計の知識がないとハードルが高いように思うかもしれませんが、研修制度が充実しており、自分の能力や希望に応じて、着実にステップアップすることができる職場です。様々な経験をいかせる職場でもありますので、国税の職場に興味を持った方は、是非チャレンジしてください。
農林水産省経験者採用試験(係長級(技術))※1	生命を支える「食」と「環境」の継承という政策課題に対し、 ①これまでの業務(食料・農林水産分野をはじめ情報、化学、機械など)を通じて得た経験や専門的な知識をいかし、広い視野と新しいアイデアをもって常に前向きに考え行動できる方 ②経済・社会・技術の動向を敏感に受け止め、将来を予測し、国民の期待に応える政策やシステムを設計し、実行できる即戦力となる方を求めています。	我が国の将来の在り方をデザインし、農林水産政策の企画・立案を担当する総合職技術系職員として採用され、その後は、ご自身の専門性を高めながら、国内外問わず幅広いフィールドで経験を積みます。 将来的には、管理職となり組織のリーダーとして活躍することが期待されます。	責任も大きいですが、その分やりがいもあります。現場感覚が常に求められており、民間企業等での経験は大変貴重となります。日本の農業や食品産業をより良くするため、国を背負って働く心意気のある方は是非受験していただきたいです。
国土交通省経験者採用試験(係長級(事務))※2	国土交通省には、まちづくり・防災・運輸業など安全・安心な暮らしをつくる分野、観光・インフラの海外展開といったダイナミックで経済成長に直結する分野など多数のフィールドがあります。それら国土交通政策の推進に強い関心があり、各種政策の実行役として、これまでの社会人経験を通じて培った論理的思考力・コミュニケーション能力・調整能力等をいかして即戦力となれる方を求めています。	当初は係長級のポストに採用され、国土交通政策に係る一般行政事務を担当します。人事異動により、概ね1～3年のサイクルで様々な業務経験を積んでいきながら、経験や能力に応じたキャリアパスを歩んでいきます。勤務地については、国土交通本省の他、地方機関、地方公共団体等への出向機会もあります。	—

試験名／省庁名		求める人材	キャリアパス	採用者からのメッセージ
国土交通省経験者採用試験(係長級(技術))	本省※1	・国土交通政策の推進に強い関心があり、将来的に技術的知見に基づいた政策立案の根幹を担っていく方。 ・これまでの勤務経験を通じて、論理的思考力、コミュニケーション力、専門的な技術力を有している方。	当初は係長級のポストに採用され、その後は様々な業務経験を積みながら政策の企画・立案の中心として活躍していただきます。また、本省勤務のほか、地方機関、地方公共団体、在外公館勤務等への出向機会もあります。	国交省で働く魅力はズバリ「日本の危機に立ち向かう」ことの一助になっていると日々実感できることです。絶対損はしないと思いますし、思いっきりチャレンジしてほしいです。
	地方整備局・北海道開発局※2	社会資本整備に関する様々な経験をお持ちの方で、国の事業の調査・設計から施工・管理までの幅広い分野でこれまで培ったノウハウを発揮したいという気持ちのある方。	これまで培ってきた専門的な知識と経験を即戦力として発揮していただくため、業務遂行の先頭に立つ係長としての職務に就いてもらいます。その後は、同年代の職員と同様に、経験や能力に応じたキャリアパスを歩んでいきます。	国交省での仕事は、今までの経験をよりスケールの大きな場でいかすことができ、プロジェクト全体に関与できることにやりがいを感じました。試験は経験が重視され、前職の仕事に従事しながらでもチャレンジ可能でした。国交省の仕事に魅力を感じる方は、是非チャレンジしてください！
観光庁経験者採用試験(係長級(事務))※2		「観光立国の実現」に向けて、我が国経済の活性化、活力に満ちた地域社会の実現、国際相互理解の増進や国際社会での我が国の地位向上、日本固有の文化価値の再認識などを図るため、観光に関する様々な政策を実施しており、観光行政に関心を持つ即戦力となる人材を求めています。	採用後は、係長級職員として、1～3年サイクルで本庁の業務経験を積むとともに、能力・経験に応じて異動・研修等を行い、専門性を高めていただきます。勤務先は本庁のほか、日本政府観光局や地方機関、海外で勤務する機会もあります。	観光は様々な産業・分野と関わりがあり、観光を通じて日本を元気に出来る分野です。観光庁では、経験者採用者をはじめ、企業・自治体からの出向者など多様な実績を積んだ方が多数活躍しています。「観光立国の実現」という使命に共感または関心をお持ちの方、各種行政課題に粘り強く立ち向かえる方のチャレンジをお待ちしています。
気象庁経験者採用試験(係長級(技術))※2		大学等で理系に関する課程を専攻し①～⑦のいずれかの知識を有し、各分野の専門性をいかして、前向きに業務にあたられる方 ①気象に関する知識 ②地震、津波又は火山に関する知識 ③気象分野の技術開発に関する知識 ④地震、津波又は火山の各分野の技術開発に関する知識 ⑤地方公共団体等の防災に関する知識 ⑥情報システムの開発・管理に関する知識 ⑦気象や地震・津波・火山に関する情報の利活用やデータ分析に関する知識	全国の地方気象台及び管区気象台等の係長級(技術専門官)として採用後、気象業務の経験を積みながら専門性を高めていただき、同年代の職員と同様、能力等に応じてキャリアパスを歩んでいきます。(管理職への登用の道あり)	気象庁では、自然災害の防止・軽減を使命とし、気象の観測・予報、地震、火山の監視業務等を365日24時間体制で行っています。これまで培ってきた経験をいかし仕事に打ち込める魅力ある職場です。やりがいある業務と一緒に取り組んでみませんか。

(※1)総合職試験採用者等が従事する政策の企画等をその職務とする職員の採用試験

(※2)一般職試験採用者等が従事する事務の実施等をその職務とする職員の採用試験

(※3)外務省専門職員試験採用者が従事する外交領事事務等をその職務とする職員の採用試験

(※4)国税専門官試験採用者が従事する内国税の賦課及び徴収等に関する事務をその職務とする職員の採用試験